

平成31年度（令和元年度）全国学力・学習状況調査
教科に関する調査結果及び考察について

保護者の皆様へ

白河市立小田川小学校長

平成31年4月18日に実施しました「全国学力・学習状況調査」の教科に関する調査結果及び考察についてお知らせいたします。

この調査は、学校における児童への教育指導や学習状況の改善等に役立てることなどを目的としています。

調査対象は6年生で、国語と算数の2教科を実施しました。

昨年度までは、「国語A」、「算数A」（主に知識に関する問題）と「国語B」、「算数B」（主に活用に関する問題）に分けて実施してきましたが、今年度より、それらが1つにまとまった調査を実施しました。

本校では、教科に関する調査結果とその考察、並びに指導方法を改善する取組をお知らせし、学校と保護者や地域の方々がともに手を携えて、児童の学力向上や学習環境などの改善に取り組んで参りたいと考えておりますので、御理解と御協力をお願いします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の一部であること、また、学校における教育活動の一側面の結果であることを御理解ください。

【本校と全国の平均正答率比較】

教科	全国平均 正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
国語	63.8%	○				
算数	66.6%	○				

【国語：本校と全国の領域別平均正答率比較】

領 域	全国平均正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
話すこと・聞くこと	72.3%	○				
書くこと	54.5%	○				
読むこと	81.7%	○				
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	53.5%	○				

【考 察】

- 「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」では、漢字を文の中で正しく使って書くことはできていましたが、ことわざの意味を理解して活用することに課題が見られました。今後は、普段の学習や生活の場面で見つけたことわざや慣用句について辞典などで意味や使い方を確認し、実感をもって捉えたり使ったりできるように指導していきます。
- 「書くこと」では、情報を相手に分かりやすく伝えるための工夫については理解していましたが、調べたことを報告する文章に用いられている図や表、グラフなどの目的を考えることに課題が見られました。今後は、図や表、グラフを用いた筆者の目的やその効果を理解し、自分にとって考えを深めやすく、読み手にとっても理解しやすいなどの表現の工夫を自分の文章に生かしながら書くことができるような場面を作っていきます。

【算数：本校と全国の領域別平均正答率比較】

領 域	全国平均正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
数と計算	63.2%	○				
量と測定	52.9%	○				
図 形	76.7%	○				
数量関係	68.3%	○				

【考 察】

- 「数と計算」では、ひき算に成り立つ性質を基にわり算に成り立つ性質を考える問題はできていましたが、たし算とかけ算の交ざった整数と小数の計算については課題がありました。今後は、計算の順序を誤ると式の意味が異なることに気付くことができるように指導していきます。
- 「数量関係」では、乗り物券を買う順番がくるまでの時間を求めるために、必要な情報を選択することができました。しかし、示された場面の状況から、単位量当たりの大きさを基に「所要時間の求め方を言葉や式を用いて記述すること」や「条件に当てはまるかどうかを判断すること」に課題が見られました。今後は、日常生活の中から問題場面を想起させ、示された条件に応じて問題解決を図ることができるよう、授業の中で繰り返し指導していきます。